

ダメ、ゼツタイ!「いじめ」について、精神科 医の立場より 正光会 宇和島病院(柿原) 山内 洋治



文部科学省によれば、昨年度の小中高校でのいじめの認知件数は54万件超と過去最多とのことでした。また、年齢や社会的立場に関係なくいじめが発生しうることとは、近年社会を騒然とさせた幾つかの報道が示す通りです。本稿ではいじめについて、精神科医療の観点から論じていきたいと思っています。

いじめられた経験を持つ場合、うつ病などの精神疾患の発生リスクが上昇すると言われています。イギリスにおいて、7歳から11歳までの間にいじめ被害を経験した約8千人に対し追跡調査を行った結果「うつ病、自殺」などのリスクが2割近く高くなったという報告があります。また「過覚醒、フラッシュバック」などのPTSDと同様の症状が生じるケースも報告されています。

す。PTSDと言えば、本来は大災害や命に関わる事故などによって生じる反応ですから、いじめがどれほど強烈なストレスをもたらすのか察するに余りあると言えます。

いじめた側のこのころの健康も損なわれます。度重なるパワハラで部下を失職に追いやった結果、その責を問われ自らも失職。失意から飲酒を重ね、アルコール依存症として入院した人をつて担当したことがあります。

外来診察の度に「友達がいじめられているのに何もできなかった、私は無責任です」と何年も前の出来事を回想し涙を流すうつ病の女性もおられました。

このように、いじめにより私たちのこころは傷ついて、あるいは他者のこころを傷つ

けて、しまいいにはこころは傷だらけになってしまっています。精神科医の立場からすると「イジメ、ダメ、ゼツタイ」なのです。

精神科医 中井 久夫氏は著作「いじめのある世界に生きる君たちへ」(中央公論新社)において、いじめは「孤立化、無力化、透明化の三段階を経て進んでいく、驚くほど政治的で、人間を奴隷にしてしまうプロセス」だと述べています。このようないじめ構造の形成過程を把握することは、その後の問題解決に大いに役立つと考えられます。今まさにいじめに悩んでいる人、相談を受けている人、かつて苦しい思いをした人、ぜひご一読をお勧めします(同書はパフィオうわじまの図書館で閲覧、貸し出し可能とのことです)。

余暇のひととき

雑草の生命力を見習おう 日野 厚生
タンポポの綿毛のように記憶とび 毛利 清子
どなた様からも転ぶな御用心 薬師寺絹子

トラバースの映像に見る篠山にまた登りたし
かの日 顕ちくる 中村 美鈴
篠笛と十一弦のコラボレーション「祈り」の
調べに人ら聞きいる 首藤 千晶
山水空すつかり散りし花も実も沈む夕陽に秋
は終わりぬ 森 ユミ子
玄関を開くれば流るる岩松川 鯉の撥ね飛ぶ水
音を聞く 西崎美紀子
釣りが好き朝に夕べに岸壁に竿たる人に小鯨
が踊る 清家 幸子

暮れ残る白壁寒し天守閣 吉見さつき
買ひ忘れ又会ふ人や年の暮 森田 寿美
船寄らぬ寂れ港や花八つ手 二宮美千代
山茶花や掃き清めたる大師堂 二宮リエ子
冬ざれに深閑とする山の里 萩森 理枝
湯豆腐や言葉少なな二人なる 浅尾美津子
一両車行き交ふ里の冬田道 斉藤 早苗
誘へるギリシャ神話へ冬星座 原田 権左
秋日和会遇あるや一別後 秋田 泰造
一条の煙立ち上る冬田かな 三原 美加